

機能一覧

機能分類	機能名
文書の管理	参照(オリジナルファイル、PDFファイル)、Webビューア、サムネイル表示、ドラッグ&ドロップ操作、添付ファイル機能、属性管理、バージョン管理、チェックイン/チェックアウトによる排他制御、直接編集、移動、コピー、削除(ごみ箱、直接削除)、URL参照(文書、フォルダ)、メール配信機能
フォルダの管理	ツリー形式表示(通常フォルダ、公開フォルダ)、属性管理、文書一覧のCSV出力
検索	属性検索、全文検索、簡易検索、フォルダ絞り込み検索、検索結果一覧のCSV出力
分類・整理	文書種別、クリップ、文書リンク
審査・承認	申請・審査・承認、公開期限設定、保管期限設定
セキュリティ管理	アクセス権管理、監査証跡ログ、認証ポリシー設定、参照権の操作制限、セキュアPDF機能(印刷抑止、コピー&ペースト抑止、オープンパスワード)
個人設定	お気に入り、クイックアクセス、ホームの設定、文書一覧の初期表示設定
ユーティリティ	セットアップツール、運用管理ツール、一括登録コマンド(文書、クリップ文書、フォルダ、ユーザーグループ、事前定義アクセス権、ユーザー定義属性、文書種別、文書間リンク、文書のバージョン、添付ファイル、代行承認者)、作成者一括変更コマンド(フォルダ、文書)、アクセス権一括変更コマンド、文書一括出力削除コマンド、属性値一括変更コマンド、グループユーザー情報出力コマンド
システム連携支援*1	他システムからのシングルサインオン、外部認証(Active Directory連携、統合Windows認証)、他システム呼び出しボタン、PDF変換処理の拡張

*1 ワークフロー「Hi-PerBT ワークフロー」(株式会社 日立ソリューションズ西日本)、Webグループウェア「desknet's NEO」(株式会社ネオジャパン)、Webシステムアクセスマネージメントサービス「CA SiteMinder」(日本CA株式会社)などの製品との連携ソリューションを提供します。

製品一覧

品 名		概略仕様
標準製品	活文 Contents Lifecycle Manager Express	登録可能文書数は100万文書。登録ユーザーは100まで。 すべての機能を一台のマシンに構成する必要があります。
	活文 Contents Lifecycle Manager Standard	登録可能文書数は300万文書。登録ユーザーは300まで。
	活文 Contents Lifecycle Manager Enterprise	登録可能文書数および、登録ユーザーは無制限。*2
	活文 Contents Lifecycle Manager 登録ユーザー数制限解除ライセンス	活文 Contents Lifecycle Manager Express および 活文 Contents Lifecycle Manager Standard に対する登録ユーザー数上限を解除するライセンス。解除後はユーザー数無制限。
オプション製品	SDK	活文 Contents Lifecycle Managerにアクセスするユーザーアプリケーションを作成するための開発キットです。
	OCRオプション	画像ファイル(TIFFファイル、イメージのみのPDF)に対して、活字部分のOCR認識全文テキスト抽出、正立補正およびノイズ除去の処理を行います。*3
	ドキュメント一括登録ユーティリティ	ローカルディスクから文書や、スキャナで取り込んだ画像を、活文 Contents Lifecycle Managerへ一括登録できます。
	イメージクライアント	イメージ文書の参照、編集ができます。
	文書自動登録オプション	Windows上の監視フォルダに格納したファイル(複合機を使用して取り込んだイメージを含む)を、活文 Contents Lifecycle Managerへ自動的に登録できます。
	iPad連携オプション	iPadから活文 Contents Lifecycle Managerへアクセスし、文書の検索・参照ができます。
	電子署名・タイムスタンプオプション	活文 Contents Lifecycle Managerへ登録した文書に、電子署名およびタイムスタンプを付与し、有効性を一括検証することができます。別途、前提プログラムのご購入および、タイムスタンプ局、認証局を利用するための費用が必要となります。
	Document Viewer Option	活文 Contents Lifecycle Managerに登録した文書を、ダウンロードを抑止した状態で透かし文字を入れた状態で公開できます。
Web画面 多言語対応オプション(英語、簡体字・中国語)		海外拠点を含めた拠点間での情報共有を行う、英語、簡体字・中国語のWeb画面を提供します。

*2 1,000万文書程度までの利用を推奨。 *3 文書自動登録オプションと組み合わせることで、帳票を認識して登録先の振り分けや属性値の設定を行うことができます。

稼働環境

サーバー環境		クライアント環境	
OS	・Microsoft Windows Server 2012 R2 ・Microsoft Windows Server 2016	OS	・Microsoft Windows 7*5 ・Microsoft Windows 8.1*5,6 ・Microsoft Windows 10*5,6
サーバー仮想化環境	・VMware ESXi 5.0/5.1/5.5/6.0/6.5 ・Windows Server 2012 R2 Hyper-V /Windows Server 2016 Hyper-V	Webブラウザ	・Windows Internet Explorer 11、Google Chrome 59以降
データベース	・Oracle Database 11g Release 2 / 12c Release 1 / 12c Release 2 ・Microsoft SQL Server 2014/2016 ・HADRDB Version 9 ・独自データベース(製品に同梱)	Adobe Reader	・Adobe Reader X/XI ・Adobe Acrobat X ・Adobe Acrobat Reader DC
Webサーバー	・Microsoft Internet Information Services 8.5/10.0	*4 登録された文書をPDF(サムネイル)変換するために必要となります。 *5 Webブラウザには32bit版を選択してください。 *6 Modern UIは未サポートです。	
その他のソフトウェア	・Microsoft Office 2010/2013/2016*4		

活文 Contents Lifecycle Managerシリーズ

活文 Contents Lifecycle Manager 開発プラットフォーム	長年培ってきた文書管理の技術を生かし、要件に応じた最適な文書管理システムをご提供する基盤フレームワーク製品
--	---

仕様・動作環境などの最新情報は
当社ホームページをご覧ください。

詳しくは製品情報サイトへ

活文

検索

※活文は、株式会社日立ソリューションズの登録商標です。※iPadは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。※Adobe、Adobe Reader、Acrobat、Acrobat Readerは、Adobe Systems Inc.の米国及びその他の国における商標または登録商標です。※Hi-PerBTは、株式会社日立ソリューションズ西日本の登録商標です。※desknet's NEOは、株式会社ネオジャパンの登録商標です。※SiteMinderは、CA,Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。※Windows、SQL Server、Office、Internet Explorer、Hyper-Vは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。※VMwareは、米国VMware, Inc.の米国及びその他の国における商標または登録商標です。※Oracleは、米国Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における商標または登録商標です。※Google Chromeは、Google LLCの米国およびその他の国における商標または登録商標です。※HADRDBは、株式会社日立製作所の日本及びその他の国における商標または登録商標です※その他、本カタログ中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法並びに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。※本カタログ中の情報は、カタログ作成時点のものです。

商品・サービスに関するお問い合わせ・ご相談受付

【電話による受付】

0120-421-126 [通話料無料]

受付時間 10:00~17:30 月曜日～金曜日(祝日、当社休業日を除く)

【メールによる受付】

webmaster@hitachi-solutions.com

※ご相談、ご依頼いただいた内容は、回答などのため、当社のグループ会社に情報を提供し対応させていただきますこととなります。取り扱いには十分注意し、お客さまの許可なく他の目的に使用することはありません。

本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報

<http://www.hitachi-solutions.co.jp/katsubun/sp/>

S10S-24-06 2018.06

日立ソリューションズ



文書管理システム

〈活文 Contents Lifecycle Manager〉

文書のライフサイクル管理で、快適な業務環境を実現。

Hitachi Solutions

ビジネス環境を快適にし 情報資産の戦略的な活用へとつなげます。

書類や資料の作成、規則・規定の参照など、
ビジネスは文書を中心にまわっています。
文書を管理することは、ビジネス環境を快適にするため、
さらには情報資産の戦略的な活用へと
つなげていくための第一歩。
その役割を担うのにふさわしいのが、
「活文 Contents Lifecycle Manager」です。
文書の作成(更新)、閲覧(検索)、保管、廃棄など、
ライフサイクル全般で発生するシーンにおいて、
文書をパソコンやサーバー上で一元管理し、
ネットワーク経由での情報共有を可能にします。



文書管理、こんなことでお困りではないですか？

拠点間の配布コストがかかる

ペーパーコストがかさんでいる

災害時に復旧できない

情報漏洩が心配

情報共有が難しい

必要な文書が見つからない

活文 Contents Lifecycle Managerで解決！

豊富な機能と人に優しいインタフェースを提供

画面切り替え

フォルダー操作画面と検索画面などの切り替えを行います。

フォルダーツリー

文書はフォルダーで管理。選んだフォルダーの中身は、画面右側に表示されます。

操作メニュー

操作メニューを選択すると、メニューに対応した操作画面を表示します。

簡易検索

キーワードで検索できます。

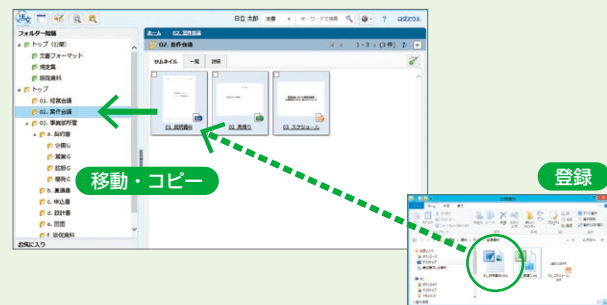
サムネイル表示

文書の先頭ページをサムネイル表示。文書を開く前に中身を確認できます。

文書の作成から、閲覧、保管、廃棄まで、文書のライフサイクル全般 を管理する「活文 Contents Lifecycle Manager」の登場です。

ドラッグ&ドロップによるかんたん操作

文書の登録、コピー、移動はドラッグ&ドロップするだけ。フォルダの移動もドラッグ&ドロップで操作できます。



多彩な検索機能

簡易検索では、文書の名前やコメントなどの属性と文書中の文字列を一度にすばやく検索できます。*
詳細検索では、属性検索・全文検索・フォルダによる絞り込み検索など、きめ細やかな検索条件を指定できます。

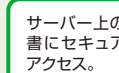


*ハイライト表示は、Internet Explorer利用時のみの機能です。

iPadからも利用可能

オンライン時に文書管理サーバーから予め必要な文書をタブレット端末にダウンロードすることもでき、外出先などの通信禁止エリアや通信が途絶える場所でも文書を参照できます。

iPad

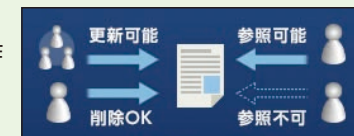


サーバー上の文書にセキュアにアクセス。

文書の参照・検索

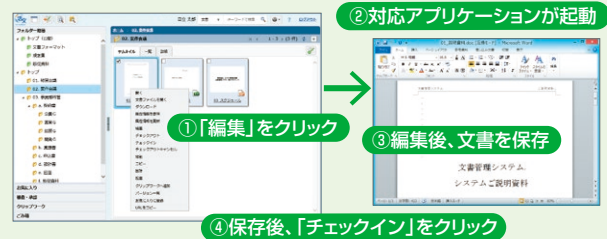
文書やフォルダのセキュリティ管理

- アクセス権設定
フォルダや文書にアクセス権を設定することで、フォルダや文書进行操作できるユーザーを制限できます。
- 認証ポリシーの設定
ユーザー認証時のセキュリティ方針(パスワードの期限、使用できる文字種など)を、認証ポリシーとして設定できます。
- 監査証跡ログ
ユーザーがフォルダや文書に対して行った操作の履歴を取得できます。



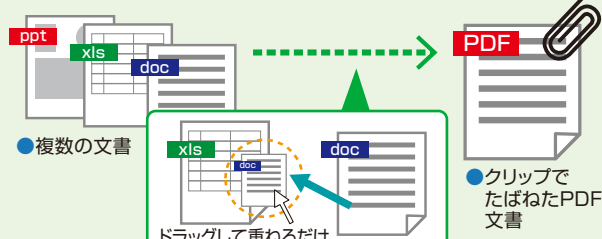
スムーズな参照、更新

参照用のPDFを生成、Adobe Readerでスムーズに参照できます。更新は、文書に対応するアプリケーションが直接起動し、すぐに編集できます。編集後は、ワンクリックでサーバーに反映できます。*ActiveXコントロールを使用する設定が必要です。



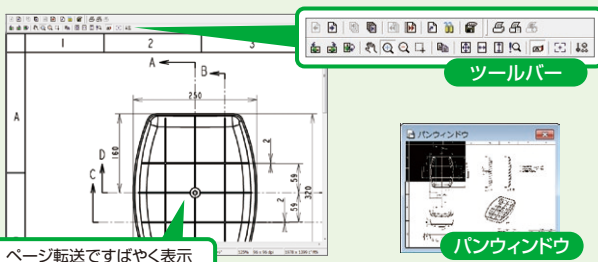
クリップでまとめて参照・印刷

画面上でドラッグして重ねるだけで、複数の文書をクリップでたばねるように一つの文書として管理できます。クリップした文書は、異なるアプリケーションの文書でも、まとめて参照・印刷ができます。



イメージデータの参照

イメージデータを参照する専用ビューアを提供。ハンドカーソルやパンウィンドウなどの豊富なツールを備え、Webブラウザで効率よくイメージデータを参照できます。



PDFへのセキュリティの付与

「活文 Contents Lifecycle Manager」で変換したPDFファイルに、セキュリティを付与してダウンロードできます。

